

宮津市駐車場整備事業経営戦略
(令和3年度～令和12年度)

【市営宮津駅前駐車場】

令和3年(2021年)3月

宮 津 市

宮津市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 宮津市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適	事 業 開 始 年 月 日	平成14年4月1日
職 員 数	0人(兼任職員 1人)	施 設 名	宮津駅前駐車場
種 類	届出駐車場	構 造	広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年数	19 年
駐車場使用面積	1,888.76 m ²	収 容 台 数	39 台
営 業 時 間	24時間		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	一者随意契約により管理委託契約	
	イ 指定管理者制度	—	
	ウ PPP・PFI	—	

(2) 料金形態

車種	営業時間			
	20分以内	20分を超える 1時間以内	1時間を超える 30分までごとに	午前0時までごとの 限度額
普通自動車	無料 円	100 円	50 円	500 円
	円	円	円	円
	円	円	円	円
料金形態の考え方	周辺に飲食店が多いことから、利用客が利用しやすい料金設定としている。 また、駅に隣接していることから、出張等で電車を利用する旅客に対し、一定区間以遠の往復乗車券及び特急券を購入した場合に、割引券を発行している。			
料金改定年月日	平成24年4月1日			

(3) 現在の経営状況

収益的収支比率は令和元年度で241%となっており、全ての費用を料金収入で賄う健全な運営ができている。

2. 将来の事業環境

(1) 駐車場需要の見通し

駅近辺には当該駐車場しかなく、鉄道利用者等の利用率は高い。
当該駐車場近辺には多くの飲食店があり、観光地としての繁忙期(長期連休、盆など)には、多くの観光客も利用している。
令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用が減少したものの、観光入込客の増加を目的とした施策の実施、感染症収束に伴う外国人旅行者の受入等、観光誘客を図り、令和6年には観光客利用がほぼ回復する見通しとしているが、一方で、人口減少や車離れ等による自動車保有台数の減少及び社会情勢の変化の影響により地元住民等の一般利用は減少見込であり、全体としては令和6年以降の需要は、令和元年以前を若干下回る水準で横ばいの推移となる見込である。(別紙1参照)

(2) 料金収入の見通し

「(1) 駐車場需要の見通し」のとおり、利用台数は一定期間経過後は増減0を見込む。なお、令和3年7月1日付けで料金改定を実施する予定であることから、利用料金収入は現状から増加するも、利用台数見込同様、一定期間経過後は増減0と見込む。
(別紙1参照)

(3) 施設の見通し

平成24年度に全自動料金精算システム導入(機械化)、平成29年度中に区画線の修繕を実施したところであるため、今後10年間に
おいて大規模修繕は必要としない。
また、全自動料金精算システムについては、メンテナンスも含めた管理委託としていることから、修繕、又は取替等を要する不具合
が生じる可能性は低い。

3. 経営の基本方針

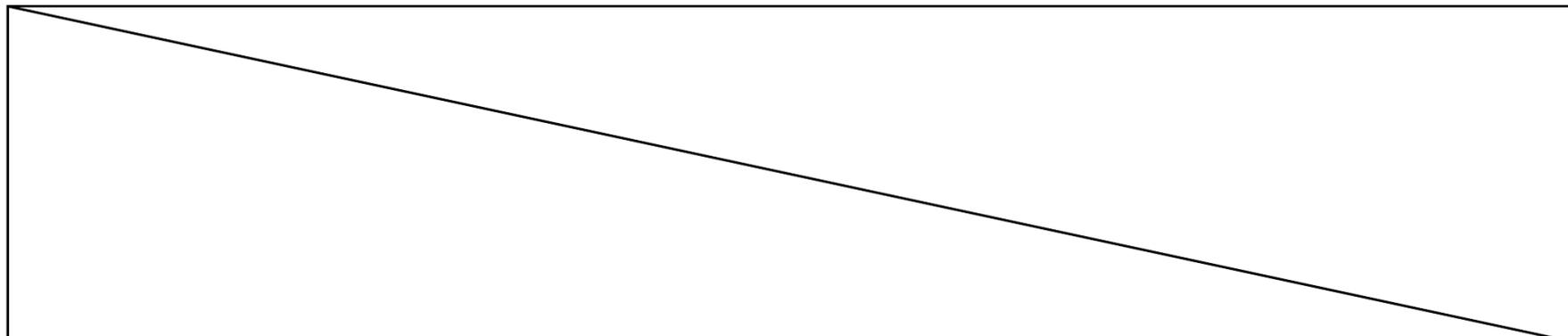
- 利用者が安心・安全に利用できるよう駐車場施設の維持に努める
- 維持管理費のコスト削減や光熱水費の軽減などに努め、より一層の効率化を図る。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり
 (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	当面の間は大型の投資を行う予定はなく、適切な修繕等を行い施設の長寿命化を図る
-----	--



② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	観光客及び地元住民等の利用を呼び込むとともに、料金改定による料金収入の増額を図る
-----	--

◆利用台数
 ・2-(1) 駐車場需要の見通しにおけるR6以降の利用台数の水準を、H29～R元の3年平均の約85%と試算。
 ※人口減少等の影響を約15%(H27からR元の利用台数減少(5年間で約10%減少))と見込む。
 ・R6までの増加(観光客利用の回復分)は、R3が最も増加幅(回復幅)が大きく、以降逡減する試算とした。

◆利用料金(営業収益)
 ・1台あたりの平均駐車時間から1台あたりの駐車料金を算出し、上記の利用台数(無料台数及び協定減免台数除く)に乗じて利用料金見込を算出。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

◆駐車場管理業務委託料(営業費用)

(過去5年間委託料実績)

○H27 2,011,392円
 ○H28 2,011,392円
 ○H29 2,011,392円
 ○H30 2,011,392円
 ○R1 2,030,016円
 ○R2見込 2,048,640円

⇒R3見込 2,048,640円 以降、同額見込み。(消費税増税に伴う委託料の引き上げについては考慮しない)

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
駐車場の配置の適正化	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
投資の平準化	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
その他の取組	今後の施設利用状況などから総合的に判断する

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	近隣市町及び市内他駐車場の利用料金を鑑み、令和3年7月1日付けで料金改定を施行し、料金収入の増額を図る
利用者増加に向けた取組	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
企業債	企業債の発行は行わない
繰入金	
資産の有効活用等による収入増加の取組	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
その他の取組	今後の施設利用状況などから総合的に判断する

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
管理運営費	今後の施設利用状況などから総合的に判断する
職員給与費	専任職員の配置がないため計上なし
その他の取組	今後の施設利用状況などから総合的に判断する

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	
公営企業として実施する必要性	京都府北部を代表する観光地にあり、また、駅に隣接している。地区内には他の駐車場が存在せず、観光客及び鉄道利用者が利用する駐車場であり、路上駐車防止や観光誘客の促進のために、当該駐車場は必要である。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	本経営戦略は、来訪者のニーズや社会環境の変化等を踏まえ、適宜修正を行っていく。
---------------------	---